

大野一心

NO. 29

令和4年12月6日(火) 文責：校長 諸熊 修一

校長の独り言(ひとごと)

月日の経つのは早いもので、もう12月師走(しわす)になりました。師走とは一説によると、「年末になるとお坊さん(師)が仏事を行うために家々に呼ばれて、忙しく走り回る」。つまり「師が走り回る」からとも言われています。私も12月に入ると、いつもより慌ただしい毎日を送って、毎年、気づくと大晦日になっています。



さて、先週は、今年の流行語大賞が発表されました。大賞は、プロ野球ヤクルトの村上宗隆選手の活躍を表す「村神様」が選ばれました。今年の村上選手は本当に神がかった活躍でした。5打席連続ホームランの日本記録。今シーズン最後の打席での日本選手シーズン最多本塁打記録の更新。史上最年少の三冠王。記録を上げていくときりがないくらいです。私も村上選手の活躍には、テレビの前に釘付けになりました。他にも日本ハムファイターズの応援で有名になった「きつねダンス」や夏の甲子園で優勝した時の仙台育英高校須江監督の「青春って、すごく密なので」ということばなど、野球に関するものが多く受賞していたのが今年の特徴だったかなと思います。

ことばは生き物です。私の若いころは流行の先端をいっていることを「ナウい」と言っていました。今はほとんど使われません。生徒に「ナウい」と言ってもキョトンとされるか大笑いされると思います。私の少し上の世代は「イカす」と言っていました。私の親の世代は「ハイカラ」。今は何とのでしょうか。「イケてる」かな?この言葉ももう古いのでしょうか。流行語大賞の記事を見ていて、今年選ばれた流行語で、この先も使われることばはどのくらいあるのだろうかと思いました。

ちなみに、3年生が生まれた2007年の流行語大賞は「どげんかせんといかん」(東国原 英夫さん(当時 宮崎県知事)と「ハニカミ王子」(石川 遼さん(当時 アマチュアゴルフ選手。2年生が生まれた2008年の流行語大賞は「アラフォー」(天海 祐希さん(女優)と「グ〜!」(エド・はるみさん(タレント)。1年生が生まれた2009年の流行語大賞は「政権交代」(鳩山 由紀夫さん(当時 内閣総理大臣)でした。生徒の皆さんはどのくらい知っていますか?

給食だより 読まず後悔

公務員 渋谷 健一 53
(宮城県名取市)

自宅で片付けをしていたら、成人した娘が小学校時代に学校から持って帰ってきた「給食だより」が見つかった。懐かしさのあまり眺めていると、「献立表に目を通してください」という保護者向けのメッセージが目に入った。当時は気にしたことなかった。

そこには、子どもたちとの会話で給食を取り上げて食べ物への関心を持たせてほしいという内容が書かれていた。献立表にはよくかんで食べてほしい料理には「米」、地場産品を使った料理には亀のマークが記されていた。児童への気配りを感じた。

今振り返ると、「給食だより」を読まなかったことが悔やまれる。読んでいれば、娘ともっと気軽にいろいろな話ができたかもしれない。

私には大学2年生と高校3年生の双子の娘たちがいます。年が明けると、高校3年生の娘たちは、大学に進学して家を出るので、妻と二人になってしまいます。20数年ぶりの二人っきりの生活に今から緊張しています(笑)

娘たちが小学校や中学校の時に、自分が教師でありながら、忙しさにかまけて、娘が通っていた学校からいただいた様々なお便りに、あまり目を通さなかったなどと左の記事を読んで反省しました。

小学生や中学生のお子様がいらっしゃる保護者の皆様は、まだ間に合います。本校からもたくさんの通信が届いているかと思っています。ぜひ目を通していただいて、お子様との話題の一つにさせていただけたらと思います。